

社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム 山科苑

デイサービスセンター 山科苑

居宅介護支援センター 山科苑

京都市山科区大塚野溝町3番地

TEL (075) 593 0800

ryokuju@agate.plala.or.jp

<http://www3.plala.or.jp/ryokuju/>

花咲かだより

題字 森 さん



山科苑 ちぎり絵クラブ

(敬称省略不同)

ご挨拶

施設長 吉澤 英樹

向寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より当法人運営にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

最近には特に寒い日が続くようになりまして。先日まで暑い夏だったような気がいたしますが、あつという間に秋を通り越して冬が来たかのように感じられます。

ところで、前回もお知らせをいたしましたが、引き続き「デイサービスセンター増築・改修工事」の進捗状況をお知らせ致します。前回は2階部分の工事でしたが、現在は工事範囲が1階に下りてきています。今まで宿直室・相談室であった場所に、デイサービス専用トイレを設置いたしました。

また、以前医務室であった場所に、相談室・男子更衣室・宿直室、そして女子更衣室を設置いたしました。

工事期間中は、山科苑をご利用の皆様にはご迷惑をおかけしますが、もうしばらくの間、ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。工事完了は12月中旬を予定しております。



1階デイサービス専用トイレ前



デイサービス専用トイレ



旧宿直室



相談室



男子更衣室



旧医務室



宿直室

↓ 医務室の左半分のスペースは女子更衣室です。トイレとシャワー室も設置しました。

↑ 扉を開けてみると右のお部屋には男子更衣室が左のお部屋には相談室があります。さらに奥の扉を開けますと、宿直室があります。シャワー室もありますよ！



女子更衣室内
シャワールーム・トイレ



女子更衣室



女子更衣室

DS デイサービスセンター

バーチャルかけっこ



コッコボン



障害物競走



今年も山科苑秋の大運動会を去る10月に行いました。
座ったまんまの大運動会です！

バーチャルかけっこ：
座ったまんま、布の上を走ります。すると向こうから人形が走ってきて、一等賞！

コッコボン：
にわたりの頭を叩くと卵(テニスボール)が出てきます。早く10個生ませた方が勝ち！

障害物競走：
ダルマに付けたロープを引っ張って、ジャンプさせたり、方向を変えたり、ダルマ同士ぶつかったり、どっちが先にゴールするか！

その他：だるま崩し、輪投げなど
今年も全部スタッフの手作りゲームです。
楽しんでいただけましたでしょうか。

本当に皆様、すごいですね。夢中になって身体を動かし、はしゃぐ職員も一緒に本当に楽しかったです。
ありがとう
ございました。

職員のご紹介



こんにちは。7月から山科苑にきました 鵜飼 恵美 です。宇治川や由良川で鮎を獲る鵜飼と同じ漢字です。もちろん私は鵜匠ではなく山科苑デイサービスセンターの職員です。早速ですが簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和61年生まれの子の猫好きです。ちなみにまだ独身です。以前は療養型の病院でケアワーカーとして働いていましたがデイサービスは初めてです。一生懸命頑張りますので今後とも宜しくお願いします。

ひらかた大菊人形 龍馬伝



遠
 足の企画を考えてインターネットで見ていると京阪電車百周年記念、ひらかた大菊人形龍馬伝を発見。ご利用者へそのことを話すと「懐かしい」「以前は欠かさず行っていた」「是非行きたい」との声が聞かれ遠足実施となりました。ご夫婦での参加が多かった今回、久しぶりの菊人形を眺めながら男性ご利用者から付き添いで参加していた職員に「この菊はこつやつて育てるんやで。昔はよく菊を育てた。今はもう菊士がいなくなっちゃったからあまり見なくなっちゃったな。綺麗な、帰ったら写真見てくれるか」と話し、帰ってから昔の写真を見せて懐かしんでいる様子がかげえました。(付き添い職員 談)

遠足



① 天気がよかったですので外でお弁当をみんなで食べてのんびりしています。

東映太秦 映画村

映
 画の裏側を知ることができるツアーに参加してきました。坂本龍馬(東映の俳優)が映画やドラマの裏側や脇役の心境、セットの解説などをおもしろおかしく話してくれました。(無料で)このカッパなと・この衣装は「や」遠山の金さんの遠山桜ってどうなっているか知ってます? や「水戸黄門で最後に目に入らぬかの紋所ですがそのお値段なんと・・・」など楽しいツアーでした。映画の見方が変わる内容は是非面会の際に聞いてみてください。ちなみにこの俳優さんは京阪のCMにでています。(ツアー参加職員 談)



2年目のケア

特別養護老人ホームって?

特
 別養護老人ホーム(以下特養)はお年寄りが介護を受ける場所、というイメージをもたれるのではないのでしょうか。確かに特養のご利用者は日常生活の中で何らかの介護を必要とされている方が入居され、生活をしておられます。それだけでしょうか、山科苑はどんな特養なのでしょうか。山科苑は従来型特養と言われている特養で、3階建ての2階、3階のフロアが特養です。真っ直ぐな廊下にお部屋が並んでいます。お部屋は4人部屋で、カーテンで個々のお部屋が区切られています。プライバシーな空間はやや狭いですが、各お部屋にご利用者の個性が出ており、ずっと使っておられたタンスや小物が置いてあったり、好きな本が置いてあったりします。私が所属する2階フロアではご利用者皆さんが「くつろげるスペース」を、とフロアにソファやTV、椅子、本棚、CDデッキ等を置いて、ご利用者が居室から外に出てきて「くつろげるスペース」作りを行っています。その取り組みの結果、フロアには人がたくさんおられます。もちろんお部屋で過ごす方もおられますが、ほとんどの方がお部屋の外で話したり、TVを見たり、クラブ活動をしています。そして山科苑はやりたい、やってみたいと思う事ができる特養だと思います。料理がしたい、という声にこたえて料理クラブができた、書道がしたい、という声で書道クラブができた。ご利用者、職員ともにやりたい!と思ったことができて、そんなところです。

特養と一言にいってもいろいろな特養があり、山科苑は特養の中のひとつなのですが、山科苑が「ご利用者にとって過ごしやすい場所であり、部署など関係なく職員全員がご利用者にとって気安い存在でありたい」と日々の思いとともに生活しています。

文 饗庭 恵

取り組み

ちぎり絵
 ちぎり絵を教えらる方が少なくクラブ活動ができなかったのですが、今回は苑を退職した職員がクラブを復活させました。実際活動しているところに行きどういった所が楽しく、難しいかをインタビューしました。「この紅葉は難しい」「なぜですか」「紅葉の形にちぎってみたらわかる」「葉脈見てみ、和紙の繊維をほくして貼り付けるんや、難しいわ」「でも楽しい?」「苦労してできあがるから楽しい、うれしいわ」と笑顔で話すMさんでした。



春、待ちどほしい
 来春に向けて、花の種を植えることにしました。今回は『なでしこ』『ヒオラ』『オステオスペルマム』の3種類です。「ちゃんと咲くかな」「しっかりと世話をしないと咲かへんな」と話しながら植えています。限られた空間ですが少しでもたくさんのお花が咲きますように、あぁ春が待ちどほしい。フロアスタッフより



敬老の日 お祝いカンタービレ



① この日の為に業務後に特訓を積んできました。いわゆるハモるってこんなに難しいとおもいませんでした(汗)

敬
 老の日に職員による『合唱』でお祝いしました。『赤とんぼ』『ふるさと』『浜辺のつた』『もみじ』とご利用者が知っている季節の曲を各パートに分かれて混声合唱を行いました。残念ながら私、立花は合唱には参加できなかったのですがその様子をご利用者と一緒に鑑賞することはできました。職員と一緒に歌っておられるご利用者が多く会場が一体となっていくのを体感し感動しました。職員の間も盛大な拍手で終わった後にはお待ちかねのお昼ごはん。豪華な献立でご利用者も満面の笑みで喜んでおられました。皆さんおいしくて完食!です。敬老の記念品はフォトアルバムです。各担当職員がアルバムを工夫して、ご利用者に喜んで頂けるような飾りを付けたり、普段なかなか伝えきれないメッセージを添えてご利用者への思いと、まごころのつまったアルバムを贈らせてもらいました。皆様これからもお元気で過ごすください。以上 立花 でした。



一年生立花瞳がリポート
 老の日に職員による『合唱』でお祝いしました。『赤とんぼ』『ふるさと』『浜辺のつた』『もみじ』とご利用者が知っている季節の曲を各パートに分かれて混声合唱を行いました。残念ながら私、立花は合唱には参加できなかったのですがその様子をご利用者と一緒に鑑賞することはできました。職員と一緒に歌っておられるご利用者が多く会場が一体となっていくのを体感し感動しました。職員の間も盛大な拍手で終わった後にはお待ちかねのお昼ごはん。豪華な献立でご利用者も満面の笑みで喜んでおられました。皆さんおいしくて完食!です。敬老の記念品はフォトアルバムです。各担当職員がアルバムを工夫して、ご利用者に喜んで頂けるような飾りを付けたり、普段なかなか伝えきれないメッセージを添えてご利用者への思いと、まごころのつまったアルバムを贈らせてもらいました。皆様これからもお元気で過ごすください。以上 立花 でした。



敬 老の日に職員による『合唱』でお祝いしました。

一年生立花瞳がリポート



① 今年の祝年の方々です。平均年齢90歳超の山科苑では米寿の方でも『若いねえ』と言われる。

滋賀県信楽 ためき村

今
 年の新名所は滋賀県信楽にあるためき村です。到着早々に巨大なためきの焼き物が迎えてくれます。「たくさんのためき作るの大変やろ」などと話しながら焼き物見学。近くに本格的なおそば屋を発見。本日の昼食は滋賀県産の天ぷらそばを食べながら次はどこに行こうかと相談していました。(付き添い職員 談)



滋賀県愛東町 コスモスフェスティバル

2
 回目の滋賀県愛東町にあるマーガレットステーション。前回行った方からすぐ綺麗だったときいて行くことになった。この日は暖かく一面に広がるコスモスに見とれ「たまにはいいな。摘み取ったコスモスを花束にしてお土産にしました。」
 ココスモスを摘むことができます
 ① どれがいいか相談しています
 ② 色を合わせよう
 ③ 山科では見ることができない風景でした





新型or季節型!?

ナースのお仕事を
ちよっぴり紹介!
医務室
だより



新型インフルエンザとは、過去に人が感染したことのない新しいタイプのインフルエンザです。人類の殆どが免疫を持っていない為、容易に人から人へ感染するものであり、世界的な大流行が引き起こされ、大きな健康被害とこれに伴う社会的影響が懸念されています。

新型インフルエンザは鳥インフルエンザが変化して発生すると考えられており、鳥インフルエンザが鳥や人の体内で変化する場合と豚や人の体内で鳥インフルエンザと人のインフルエンザが交じり合っただけで変化する場合の2通りであると考えられています。

昨年流行した新型インフルエンザは、WHOのあおりもあり世界的にも厳戒体制がとられました。結果としては弱毒性で、その多くが小児に感染するものであったため老人への大流行はありませんでした。

逆に季節型インフルエンザはその年によって型は違いますが、以前からこの時期流行するインフルエンザで主に体力の弱い老人への大流行が懸念されています。某感染症情報センターでは本年は新型のインフルエンザが力を弱め、季節性インフルエンザが猛威をふるうと予測を立てています。これをふまえて当苑では嘱託医の指示のもと、12月より新型と季節型の混合ワクチンを用意して苑内でインフルエンザ予防接種を行います。

そのほかには、接触感染や、環境を介する間接的感染も感染経路と考えられていますので、この時期は感染が疑わしい場所や人への接触を避けています。また発熱や診断を受けた場合は、適切な診療を受けて解熱後48時間は様子観察を行います。日常の予防として流水またはアルコール製剤による手洗い、外出後の嗽を実践するようにご利用者だけでなく職員にも指導を徹底しています。

文 辻中 政代

医務室の取り組み 誤薬を防ぐ

誤薬の原因は投薬方法のルート指示のミスやご利用者の取り違い、複数の人が関わっていることによる混乱、処方から服用の間での確認不足などが原因となっています。このようなエラーを無くし、安全な服用をしてもらう為には、職員一人一人がご利用者の個人認識を高めることが大事です。取り扱いに関しても整理整頓をすることで危険因子を取り除くことができる為、日々の整理整頓と危険に対する意識が大事であると新人職員を中心に現任者にも再度指導を行っています。



リハビリ委員会より

関節を知る

研修では関節についての基本的な知識を学ぶことで、皮膚下で骨や筋肉がどのように動いているのかを理解することができました。また、講義の後にグループに分かれて実習を行い、先生に適切な手技を教わることで、今まで誤解していたことや、実際に体感することができました。この経験をご利用者に活かしていきたいと思えます。

関節可動域訓練は、自ら動かすことができなくなつた関節を適切に伸縮させることで拘縮の予防になり、ご利用者の苦痛を軽減することができます。

リハビリ委員会が中心となつて研修会を開催しました。テーマは「関節を知り適切な関節可動域訓練を行う」。講師に外部から理学療法士の先生を招いて講義と実習を受けました。



職員研修

居宅介護支援センターだより



当センターに新しいスタッフが着任いたしました。話をしていると、学生の頃と同じボランティアに参加していたり、以前受けた研修では同じグループにいたことが判明。なんたる偶然～と、お互いにびっくりしています。落ち着いた物腰と穏やかな笑顔が印象的です。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。 中村 里美

今年の9月より居宅介護支援センターに入職しました、瀧本 康子と申します。この仕事に就く前は、障害児施設で寮母として働いておりました。平成12年介護保険制度がスタート。まだその頃も施設の子供達のお世話に日々奮闘しておりましたが、障害者の施設でも施設は「養護」するだけではなく「その人(子)らしい生活の自立」に向けた「支援」や「介護」を提供する場(職員)として考え方も変わっていきました。そんな中で介護の勉強をする機会が増え、今に至ります。山科苑に来て2ヶ月が経ちましたが今も周りの方々に教えてもらいながら日々勉強させて頂いております。

最近の密かな楽しみは、季節限定や数量限定のスイーツを取り寄せたり食べに行くこと。その分、ウォーキングでも始めて「自己体重の限定」が今後の課題と思ひ始めている今日このごろです(思っているだけでまだ実行してませんが...)

こんな感じで性格もスローテンポな私ですが、ご利用者様の笑顔でその方らしい生活のお手伝いをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

はじめまして！

“ 多 事 想 論 ” 副施設長より

『メルロ＝ポンティ』熊野純彦著に、「感覚するとは、感覚される対象から、一方的に印象を受けとることではない。感覚することにおいては、むしろ、感覚するものと感覚されるものとが相互的な関係にある。感覚とは贈与ではなく、感覚されるものとの「交換exchange」である。感覚とは、あるいは「共存coexistence」にほかならない。」(P83)と書いていた。

先日、当施設の利用者で終末期を迎えようとする利用者との関わりの中から上記の文書を理解する手がかりを感じた。二度の前頭葉部出血と認知症による被害妄想に向き合い、在宅介護を続けるが自らも病に倒れて精神的に追い込まれ施設入所に至った。渾身の思いで介護をしていた長女はその日から母との関係を自ら終焉させることを決意されたが、10年の歳月を過ぎて突然に面会に来られた。その理由を尋ねると、当苑で年数回郵送する利用者の近況を記した『お便り』にあった。それは別の家族に送られるものであったが、その方からお便りを見せられた長女は「風を感じた」のだと。普段目にする事の無いそのお便りが偶然に私の前に来たこと。その文章の奥から母親が施設でどのように過ごされているかを想像し、「このまま会わないで悪くなる」ことを覚悟していたが「会って悪くなるのも同じ」だと思った。それ以後、長女は毎日面会に来られては無言で空を眺める母親の腕をひたすらさすっている。「明日また来るかどうかかわからないが無理せず心の赴くままに身を任せ母に会う」と何一つ苦痛もなく達観された語りが印象的だった。

改めて10年間の長女の想いと長女を取り囲んでいた世界を一枚のお便りがどのように一変させたのか。お便りに「風を感じた」とは、長女自身の世界の変革の契機の後押しとしての風だったのだろうか。施設の意図とは全く違って、お便りの中に力を感じとり、新たな世界に向かって内在する変革への力が交換されたのだろうか。

主体と対象との「交流」、世界に散乱した意味を主体が捉えなおし、対象の側が主体の姿勢を捉えなおすような「相互作用」を通して、一枚のお便りが長女の生きる世界は新しい意味をもったキャンパスに交換されたのではないだろうか。それを確認するために長女はひたすら無言の母親のまなざしを感じながら愛撫し続ける。感覚することを通して人は世界と語り合い、意味を交換する。同じように、援助もまた一方的な贈与でなく、ギブアンドテイクの関係として意味を相互に交換する共存関係なのかもしれない。

文・副施設長 岸田 光彦

感覚するとは贈与でなく交換であり共存である



ボランティア紹介

イベント&交流会

- ・天理教鼓笛隊 交流会
- ・音羽中学校育成学級 音楽交流会

サークル&クラブ&サポート

- ・歌声サークル 大西 いつ子
- ・生け花クラブ 松井 智津甫
- ・ちぎり絵クラブ 橋本 和子
- ・デイサービス 澤 信子、鈴木 啓子
- ・入浴サポート 石野 義子
(敬称略順不同)

皆様のご芳情に厚くお礼申し上げます。
今後とも山科苑へのご理解、ご協力を心より
お願い申し上げます。 山科苑 施設長



実習生受け入れ (9月~11月)

- ・ 聖母女学院短期大学 区分 - 2 2名
- ・ 京都福祉専門学校 3段階 1名
- ・ 2段階 1名
- ・ 区分 1 3名
- ・ 華頂短期大学 区分 1 2名
- ・ 花園大学社会福祉学科 2名
- ・ 龍谷大学社会学部地域福祉学科 3名



天理教鼓笛隊



音羽中学校交流会



行事予定



11月

- ・紅葉ドライブ

12月

- ・インフルエンザ予防接種
- ・音羽中学校吹奏楽部とクリスマスコンサート&交流会
- ・フロアでのクリスマス会
- ・餅つき

1月

- ・元旦祝賀会
- ・初詣

2月

- ・節分祭



編集後記

花咲かだより75号
いかがだったでし
ようか? 少し前
苑でデジタルカメ
ラを新しく購入し
てもらいました。今
号はそのお披露目
でもあります。先代
のカメラもかなり
酷使されながらが
んばってくれまし
たが、やはり技術
の進歩つてすごい
ですね!画素数が
アップしているの
で画像も格段にき
れいで操作もしや
すい。昔友人に大
事な撮影を頼まれ、
簡単だからと言わ

れたにも関わらず、
現像したらゆがんで、
ピンボケしていた(汗)
なんて大失敗をやらかした身
には未だに緊張するカ
メラ。私でも大丈夫で
した(と言って一枚だけ
です)掲載されている
一枚一枚は瞬間を切り
取ったモノですが、その
奥には会話や感情、
移り行く風景等それ
ぞれのドラマがあり
ます。そんな『想い』
や山科苑の『今』を
伝えてくれる相棒と
して活用していきたい
なあと考えています。

相談・苦情受付連絡先

京都市山科区大塚野清町3番地

緑寿会 山科苑

(075) 593 0800

苦情解決責任者

施設長 吉澤 英樹

相談・苦情受付窓口

副施設長 岸田 光彦

発行所/ 社会福祉法人 緑寿会

特別養護老人ホーム デイサービスセンター

居天介護支援センター

発行担当/ 山科苑広報委員会

広報委員/ 中村 里美、安富 友視、響庭 恵

中谷 博己

発行所/ 社会福祉法人 緑寿会